

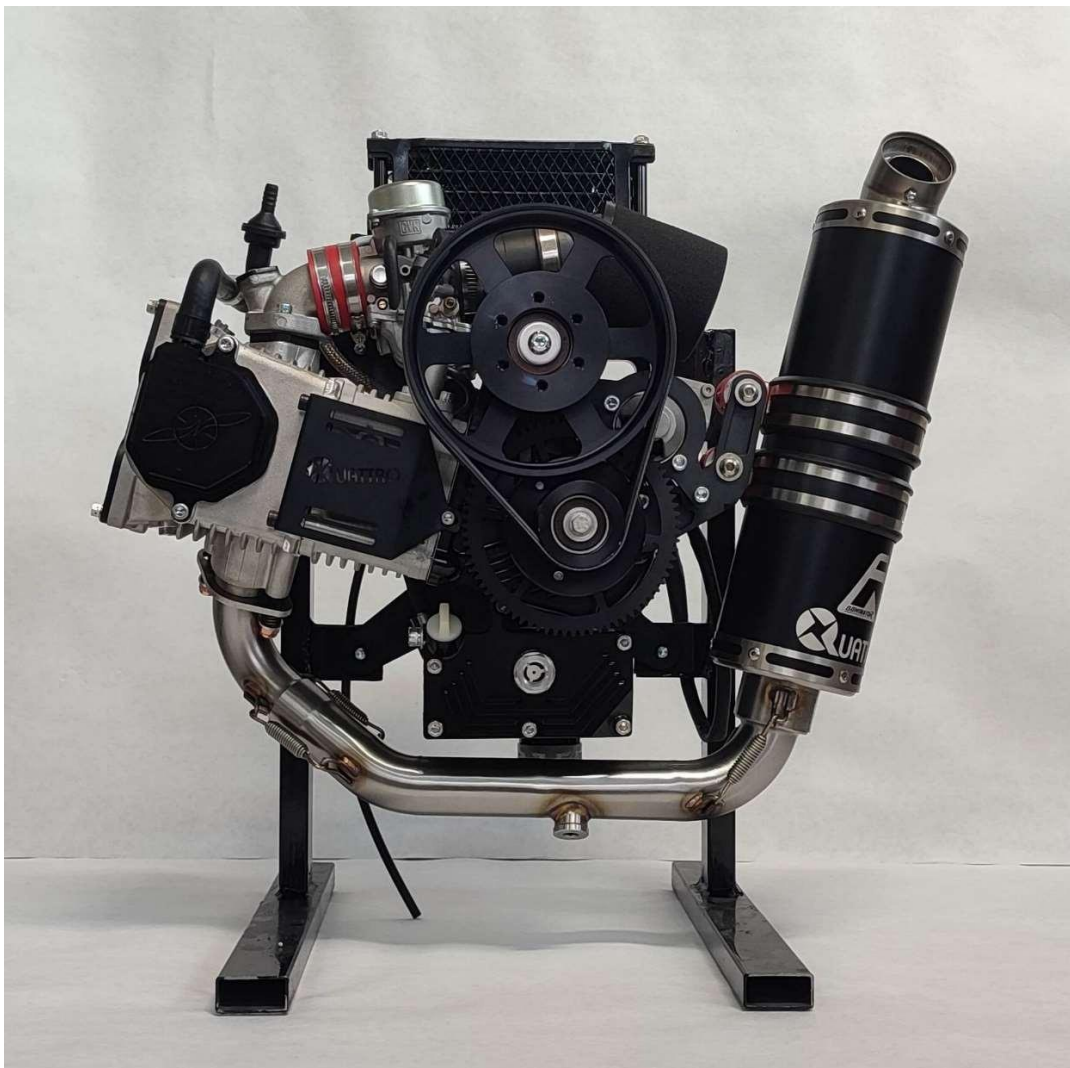


EOS-ENGINE
Produced By:
R-moto GmbH
Jagerweg 2
9400 Wolfsberg
Austria

エンジンユーザーマニュアル

エンジン番号: _____

日付: _____





EOS Quattroエンジンをお買い上げいただき、新しいエンジンの取り付けまたは始動に進む前に、このオーナーズマニュアルをよくお読みください。このエンジンは、ほとんどのプロのエンジニアが関与して開発されました。テストパイロットによって徹底的にテストされています。当社のコンポーネントはすべて高品質です。

私たちは、このマニュアルを可能な限り正確かつ有益なものにするために必要なすべての注意を払いました。このコンテンツのすべてのデータと手順は、印刷時点で正確です。ただし、R-Moto GmbHによるEOSエンジンは、このマニュアルを含む機器、コンポーネント、および製造プロセスの任意の部分に仕様および詳細を変更する権利を保持します。

このマニュアルの最新バージョンについては、www.eos-engine.com のWebサイトのダウンロードセクションを参照してください。

このマニュアルでは、エンジンの構成部品、取り付け、慣らし運転、始動/停止手順について説明し、QUATTROエンジンのメンテナンスと適切な維持に関するガイドラインを提供します。開始前のチェックをリストしていますが、このマニュアルはプロの飛行訓練に代わるものではありません。

専門的なトレーニングを受け、お住まいの国でQUATTROエンジンを飛行するために必要な有効なライセンスまたは航空許可を取得することを強くお勧めします。

ようこそ

新しい4ストロークEOS QUATTROエンジンを購入して、信頼、信頼性、低ノイズを兼ね備え、非常に低い燃料消費量を伴って、多くの幸せな時間を過ごしてください。

内容

ページ	形容
一	バリエーション / 説明 / アプリケーション
二	仕様
三	コンポーネント
四	取り付け回路図/寸法
五	配線図 – クワトロ
六	インストール ノート
七	調整とセットアップ
八	開始前のチェック/警告
九	操作ノート / 実行中 / 起動
十	サービススケジュール



- 十一 メンテナンス手順(オイル&フィルター)
- 十二 メンテナンス手順(ドライブベルトとバルブクリアランス)
- 十三 部品リスト
- 十四 保証/免責事項
- 十五 筆記



付属部品

EOS QUATTROエンジンには、エキゾーストシステム、キャブレター、エアフィルター、ホースを含むオイルクーラー、配線、CDI、イグニッションコイル、バッテリーおよび電気スター用の電圧レギュレーターが付属しています。

他の燃料ポンプの使用は許可されていません。EOS認定されていない燃料供給システムを使用すると、保証請求は拒否されます。

EOS QUATTRO電動スタートまたはデュアルスタートオプションには、スターターモーター1個、スターターギア1個、スターターフィクスチャ1個、スターターリレー1個、電圧レギュレーター1個が付属しています。

エンジン命令

EOS QUATTROエンジンには、手動スターター、電動スターター、またはデュアルスターターのいずれかを供給することができます。

必要に応じて、クラッチシステムまたはダイレクトドライブシステムの購入が可能です。当社のエンジンは、プッシュプロペラまたはプルプロペラに使用できます。

95W発電機とオイルクーラーを供給しています。

エンジンの説明

EOS QUATTROは、EOS 4ストロークエンジンシリーズの第2世代です。スムーズでプログレッシブなパワーを提供し、低騒音レベルと非常に低い燃料消費量を実現します。

EOS QUATTROエンジンは、減圧スタートシステムを含む軽量単気筒4ストローク4バルブエンジンです。当社のシステムは、クランキング中に圧縮の70%を解放することにより、高い圧縮比を簡単にプルスタートすることができます。起動すると、システムは自動的に解除されます。

EOS QUATTROは、チェーン駆動のオーバーヘッドカムシャフトによって操作される4つのバルブを使用して、2ピースのフルCNC機械加工合金クランクケース276cc変位です。オイルポンプで駆動されるオイルシステムは、オイル温度やRPMに関係なく一定の油圧を供給します。

耐摩耗性を高めるための当社の合金シリンダーのハイエンドコーティングと、正確にバランスの取れたクランクシャフト設計には、長時間耐久性のある使用のための特大ベアリングが含まれています。

当社のクランクシャフトは、2つのメインベアリングで保持されています。Poly-V 16を介したメインドライブは、偏心シャフトで

ベルトを引き裂きます。統合された可変アドバンス点火曲線を使用したCDI点火(容量性放電)。

フロート式キャブレター(CVK30 JAPAN)は、高流量フォームエアフィルターと高品質のゴム製ダクトを備えています。

EOS Quattroエンジンの冷却は、オイルクーラー冷却システムによって駆動されます。EOS Quattroのもう一つの目新しさは、射出成形シリ



ンダーとシリンダーヘッドです。警告: イグニッションCDIユニットは、エンジンに直接取り付けないでください。オイルフィルタリングシステムには、簡単に取り外し可能なオイルフィルターが含まれています。透明で透明なガラス製オイルレベルウィンドウにより、オイルレベルを簡単に確認できます

当社のエキゾーストマニホールドは、耐久性に優れたステンレス鋼で作られています。マニホールドは2つの圧カスプリングでシリンダーに固定されており、可能な限り最高の柔軟性を高めています。当社のサイレンサー合金外殻と内部ステンレス鋼材料は、長時間の使用を強化し、2つのステンレスクランプと2つのシリコンゴムマウントが取り付けられており、柔軟性を提供します



柔軟なマウント排気システム。

すべてのEOS QUATTROエンジンは、工場テスト部門で納品前テストを実施しています。テスト後、エンジンは徹底的に洗浄され、安全でクリーンな輸送のためにエンジンオイルなしで納品されます！

アプリケーション

EOSエンジンクワトロエンジンの推奨アプリケーションは次のとおりです。

- パラモーター
- パラトライク
- ハングライダートライク
- 小型シングルシート航空機
- ホバークラフト

EOSクワトロをアクロバティックな飛行に使用しないでください!

クワトロエンジン仕様

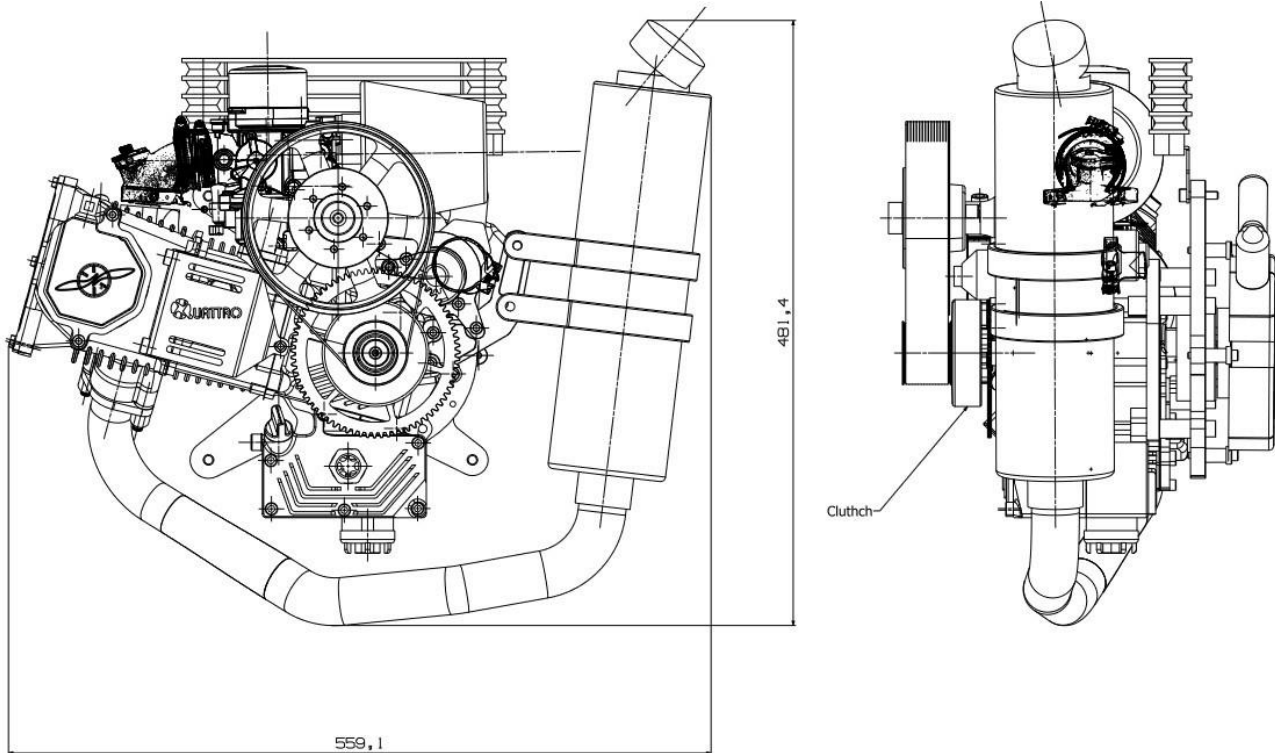
生産者	EOS ENGINE BY R-moto GmbH オーストリア
種類	単気筒 4 ストローク、オイル冷却式、4バルブ
排水量	276cc
ボア/ストローク	73×66ミリメートル
クランクシャフト	2 ベアリング C3
ピストン	鍛造レーシング合金
オイルシステム	圧力ポンプとオイルフィルター付きウェットサンプ
燃料システム	加速ポンプ付きCVKフロートボウルキャブレター
PRSU/リダクション	ポリVドライブ16リッピングで3.0:1削減
プロペラ取り付け	6 x 50mm M6 ネジ
排気	柔軟なステンレス鋼マニホールド、DPキラー付き合金ステンレスサイレンサー
スターター	手動プルスタート、電動スタート、またはデュアルスタート
点火システム	ティッカー
オイル容量	450cc
オイルタイプ	完全合成 10W50 または 10W60 4 ストロークオートバイオイル () (仕様 - JASO - MA2 - API - SL)
台	4 x M8シリコンショックマウント(赤)
スパークプラグタイプ	日本ガイシ CR8E
スパークプラグギャップ	0.60ミリメートル
エアフィルター	高流量フォームフィルター
オイルフィルター	グリッドフィルター、変更不要
ドライブベルトの張力	4Kgの力または周波数アプリ、380Hzのミッドスパンポイントでの偏向
バルブクリアランス	インレットバルブおよび0,12mm排気バルブ用の0.10mm
燃料タイプ	95以上(ロン)オクタン無鉛燃料
エンジン重量	18,2kgから19,8kgまで(利用可能なすべてのオプションを含む)
スターターモータータイプ	事前エンゲージメント
バッテリー(含まれていません)	最小12v 4ah-鉛酸または鉛ゲルタイプまたは
ジェネレータ	95W
クランクシャフトの出力	30,2馬力@ 8100回転
推力出力(静的)	>80Kg、1.30mプロペラ、ケージなしのトラストテストベンチで400mで測定@ 20度
最大出力回転数	3分限定
最大連続回転数	7200 回転/分
オイル温度	最高 160 °C 最小 55°C
シリンダヘッド温度	最高 220 °C 最低 55°C



EOS
— ENGINE —

エンジン重量	17,2 kg、デュアルスタートとクラッチ20,0kg
消費	グライダーのサイズと離陸重量によって異なります。毎時2,2~2,8リットル

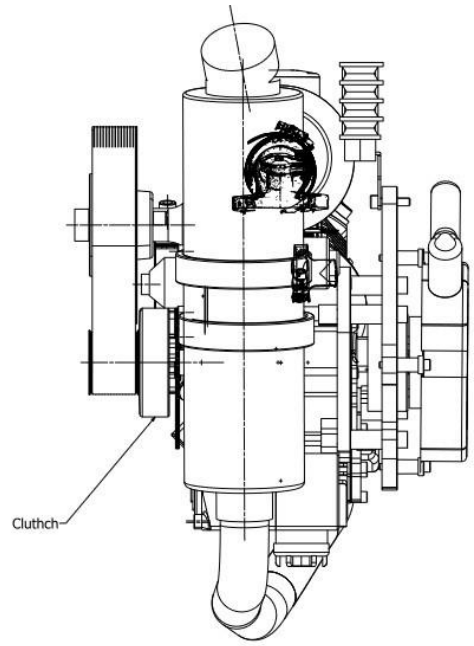
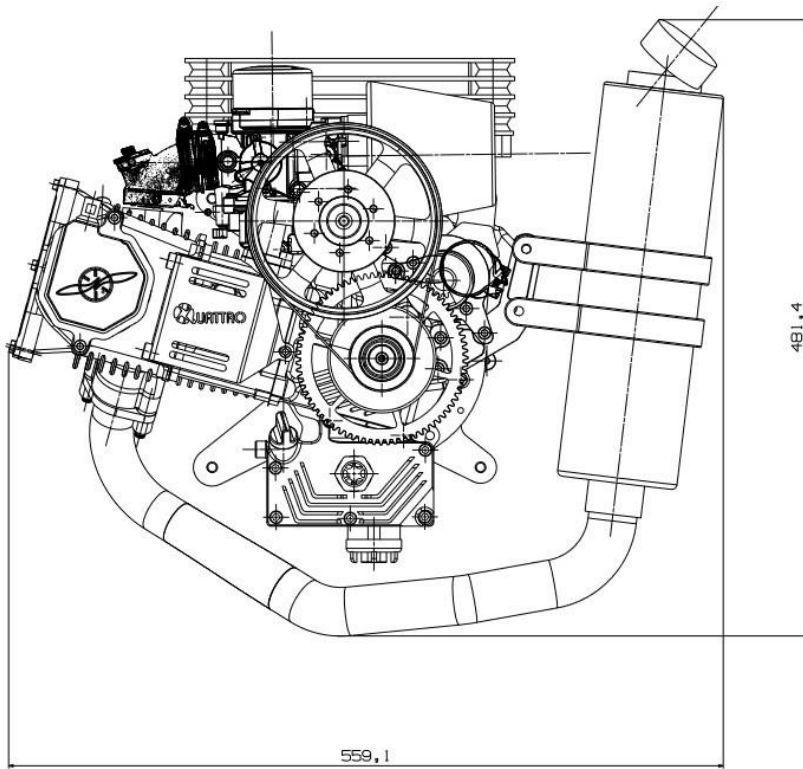
エンジン取り付け回路図/寸法



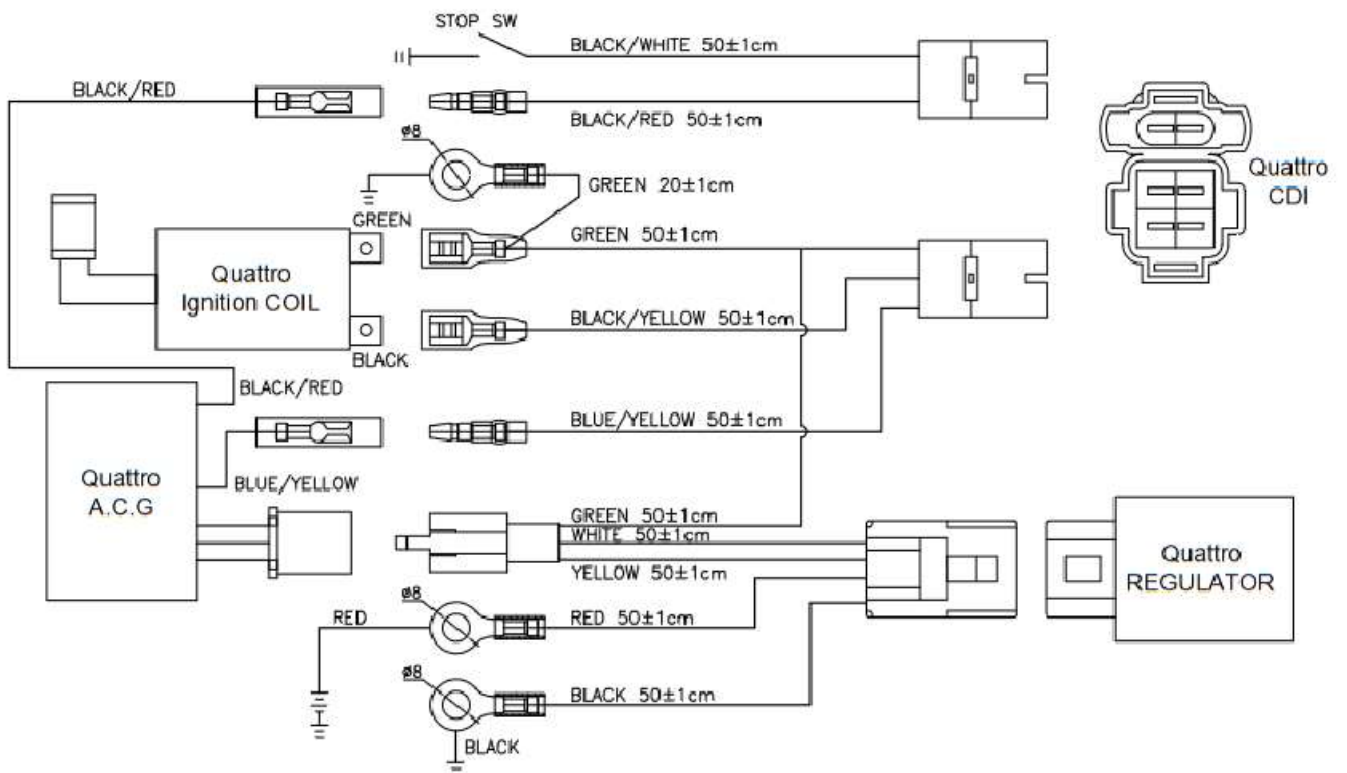


EOS

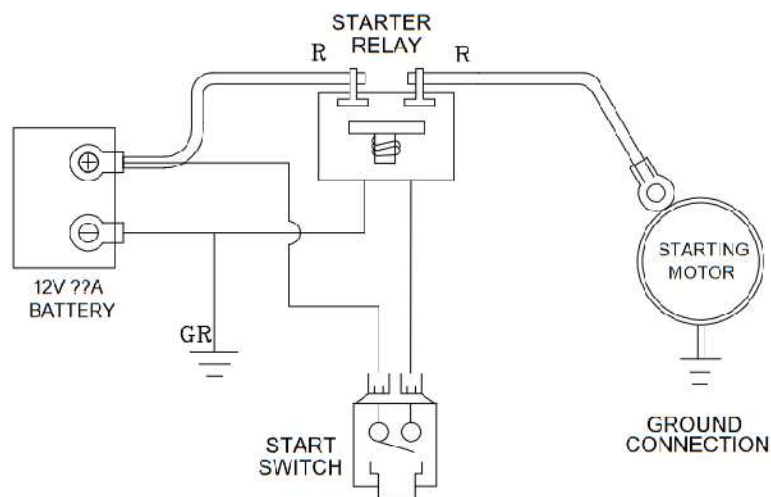
— ENGINE —



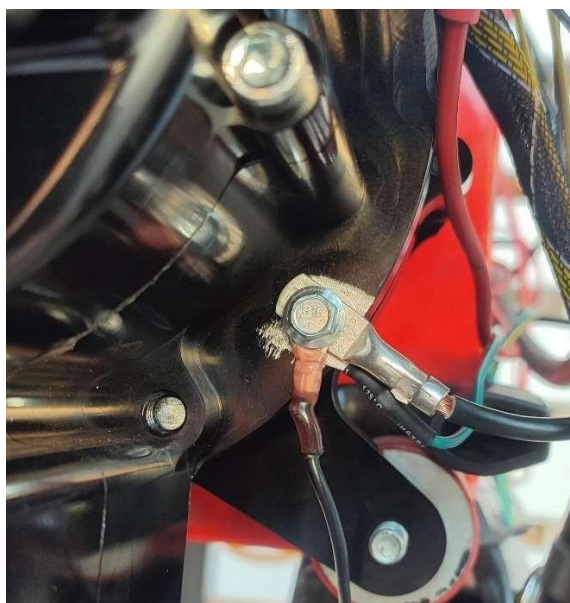
配線図 - クワトロ



配線図 電動スターター— QUATTRO社



Quattro Electric Start System Diagram



すべての接地配線をエンジンの接地接点に接続してください。
最小の使用をお勧めします 6 mm²スターターケーブル!最良のオプションは8mm²です

燃料供給システム — クワトロ

重要な注意点!

EOS QUATTROエンジンは、燃料供給にメンブレン燃料ポンプを使用しています。警告:EOSの燃料ポンプシステムのみが問題なく機能します。独自のバイパスシステムにより、正しい燃料の流れと圧力を実現します。

代替燃料ポンプは絶対に使用しないでください。

注意: バイパス減速(合金還元、赤丸)がまだきれいでも良好な運転状態にある場合は、遅くとも100時間ごとに確認してください。パイパ



ス減速が汚れていたり、破片でいっぱいだったりすると、キャブレターのオーバーフローが発生する可能性があります。

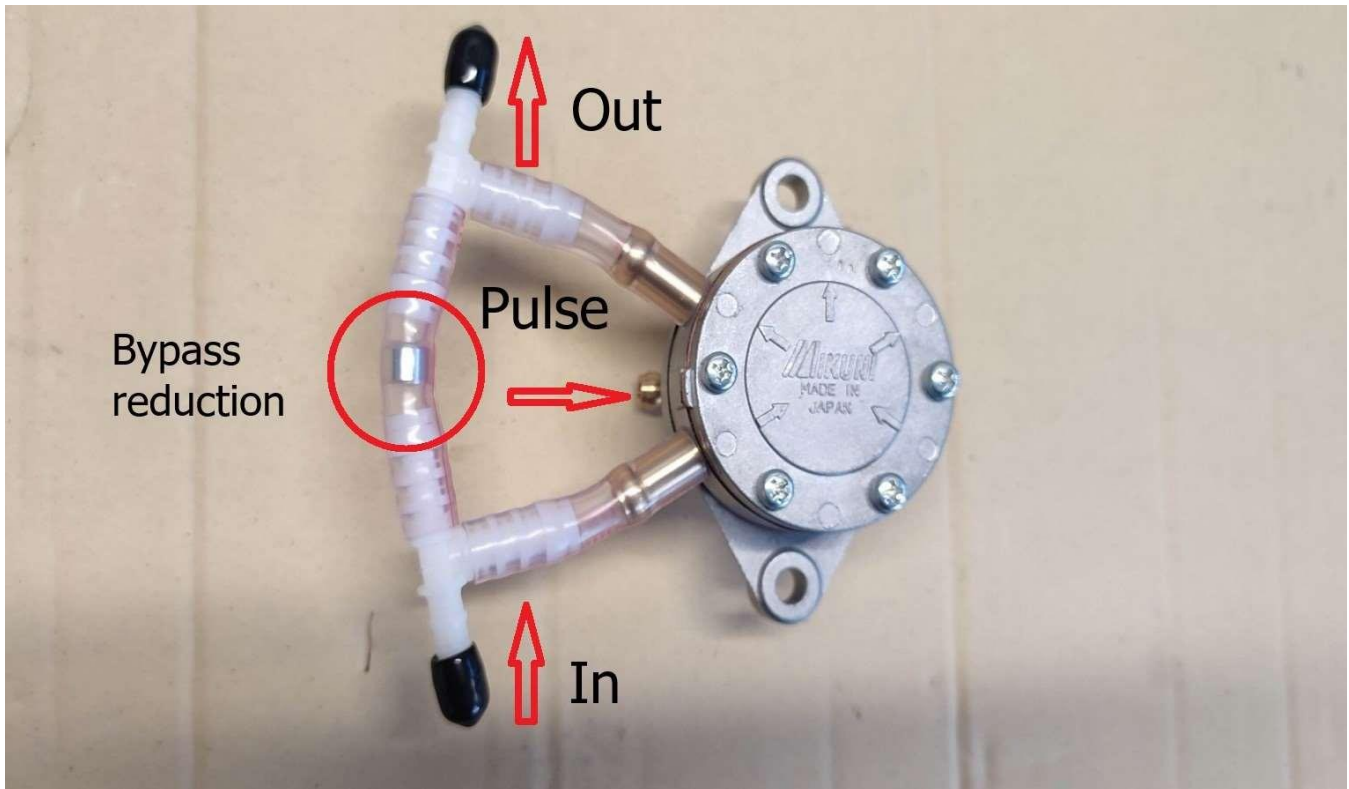


真空ホースは、燃料ポンプ(下の写真を参照)のキャブレターから測定した長さ250mmを超えてはなりません。警告:EOSの燃料ポンプシステムのみが完全に満足して機能します。独自のバイパスシステムにより、正しい燃料の流れと圧力を実現します。

代替燃料ポンプは絶対に使用しないでください。

注意: バイパス減速(合金還元、赤丸)がまだきれいで良好な運転状態にある場合は、遅くとも100時間ごとに確認してください。バイパス減速が汚れているか、デブリーでいっぱいになっていると、キャブレターのオーバーフローが発生する可能性があります。

バキュームホースは、燃料ポンプのキャブレターから測定した長さが250mmを超えてはなりません(下の写真を参照)。



インストール ノート

EOS QUATTROエンジンには、CDIから出る白黒ケーブルが付属しています。このケーブルをキルスイッチに接続すると、エンジンを停止できます。EOS QUATTROエンジンには、追加の配線織機と電圧レギュレータが付属しています。

警告: エンジンは、停止する前に少なくとも15秒間アイドリング速度で保持する必要があります。この手順により、内部の排気コンポーネントを十分に冷却し、ランダウン中に排気中の燃料の発火を防ぐことができます。そうしないと、深刻な排気損傷を引き起こす可能性があります。

キャブレターには、ボウルに固定されたVENTチューブと、燃料タンクに取り付ける必要があるリターンパイプがあります。このリターンパイプのルーティングは、燃料タンクへの一定の「落下」があり、ラインに燃料の「水たまり」が発生する可能性がないように配置する必要があります。燃料ブリーザーとリターンラインを何らかの方法で変更すると、浸炭の問題が発生します。このリターンラインは、燃料タンクの換気に同時に使用できます。

エンジンベンチレーション

EOS Quattroエンジンには、エンジンベンチレーションカバー出口に接続されているクランクケースの圧力を下げるために、ブリーザーパイプとPCVバルブが付属しています。必要に応じて、チューブをPCVバルブに接続して、エンジンからのブローバイを減らすことができます。

燃料ラインアタッチメント



燃料ラインは、燃料タンクとクワトロ真空燃料ポンプの間の燃料プライマーポンプに取り付ける必要があります。
ポンプの上流に何らかの「プライマー」バルブを推奨して、キャブレターを手動で充填できるようにすることをお勧めします。



始動。燃料ラインは内径6mmのものをご使用ください。

噓

CVKキャブレターにはチョークが取り付けられており、EOS QUATTROが冷えているときにチョークを開いてエンジンを始動します。アンビエントエンジンが約0の場合は、スロットルを3回引いて完璧なスタートを切ることもできます。

エンジンが作動したら、約20秒後にチョークを閉じます。お気をつけください!チョークを使ってプロペラが回転し始めます!

プロペラ

120cmから150cmのサイズのE-prop QUATTROプロペラを使用してすべてのエンジンをテストします。

プロペラは、プロペラメーカーのトルクアドバイスに従って固定する必要があります。

スロットルケーブル

EOS QUATTROエンジンにはスロットルケーブルは付属していませんが、オプションで注文できます。柔軟な「ハンド」スロットルアセンブリを使用して、スロットルスライドがすべての可能な方向に完全に閉じることを確認します。

停止ボタンは、手が届きやすく使いやすい位置に配置する必要があります。打ち上げ中に不注意に停止ボタンを押すことは、緊急/中止された離陸で停止ボタンに到達しないよりもはるかに好ましいことに注意してください。

オイル冷却

オイルクーラーは常に清潔に保ってください。注意:オイルクーラーは走行後非常に熱くなります!

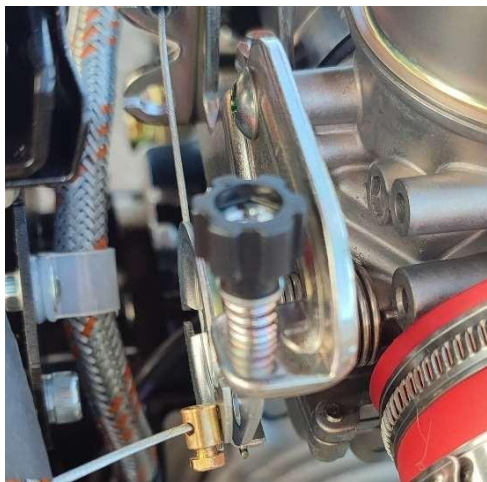
オイルクーラーが空気の流れを可能にするのに十分なクリアランスが必要です。ハーネスとオイルクーラーの間には最低100mmのスペースが必要です。

排気。

排気システムからフレームまたは燃料タンクまで、常に100mm以上の距離を確保してください。マニホールドは非常に高温に達する可能性があります。

警告:サイレンサーアウトレットのDBキラーを取り外さないでください、それはリークランニングを引き起こし、あなたのエンジンを損傷します。

調整 - キャブレターアイドル速度



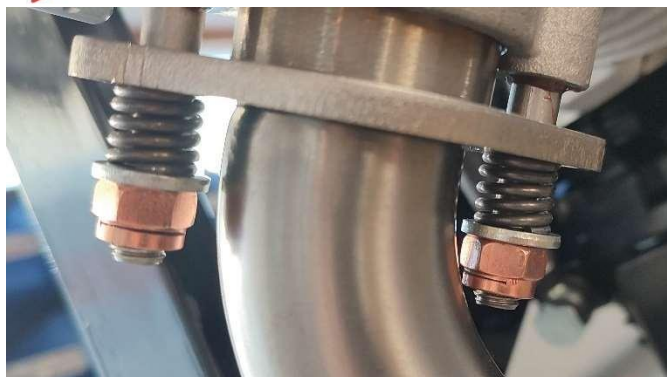
アイドル速度は、写真に示すように、スロットル象限の側面にある小さなネジを回すことによって調整されます。

アイドル速度は、クラッチで1900~2100 RPM、ダイレクトクラッチで2200~2400(2000rpm開度設定)である必要があります。



フロートチャンバーからの黒いチューブの端は、燃料タンクに接続する必要があります。

調整-排気スプリングテンション



EOS Quattroエンジンの排気ガスには、シリンダーに2つのTボルトファスナーがあり、これによりマニホールドの伸縮が可能になります。

これらのスプリングは、マニホールドの最適な柔軟性を提供するために工場で事前設定されています。スプリングの張力を調整する必要がある場合は、上の写真に示すように、スプリングの各コイル間に0,4~0,6mmのギャップを残す必要があります

開始前チェック - 警告

エンジンオイルレベル-エンジンを平らな面に置いて、オイルレベルはガラスオイルウィンドウの中間(最小)と上部(最大)マークの間にある必要があります。

燃料システム - 計画された飛行に十分な燃料があることを確認してください。

排気システム-排気システムが安全であることを確認し、マニホールドの両端にあるスイベルスプリングとサイレンサーランプの状態を確認します。締めないでください Tボルトクランプナイロンナット、これらは工場で事前設定されています 最適なクランプ力を提供すると同時に、排気アセンブリの十分な膨張/収縮を可能にします(0,4-0,8 mmが必要です) スプリングの各コイル間のギャップ-8ページを参照)。

エアフィルター/キャブレター-エアフィルターが良好な動作状態にあり、しっかりと締められ、汚れたり詰まったりしていないことを確認します。固定ブラケットが良好な状態にあり、正しく固定されていることを確認してください。キャブレターとインレットマニホールドの間のゴム製コネクタ(ダクト)の状態も確認してくださいamps両方のクランプが正しく配置されています。

スパークプラグHTリード- HTリードキャップがプラグに完全に押し込まれていることを確認します。各フライトの前にスパークプラグを取り外し/確認する必要はありません。スパークプラグキャップを不必要に繰り返し取り外すと、キャップが緩みます。

オイルクーラー -空気がオイルクーラーに簡単に入るように、オイルクーラーまたはそのカバーに破片がないことを確認してください。

スロットルアセンブリ-キャブレターのフルスロットルトラベルを視覚的に確認し、スロットルが完全かつスムーズに閉じることを確認します。

減速ドライブ/プロペラ - プロペラに亀裂や欠けがないことを確認します。6本の取り付けボルトを確認します。

ドライブベルト- Poly-Vドライブベルトに亀裂、摩耗、張力がないか確認してください。

グラウンドランニング- EOS Quattro ENGINEは、エンジンを「グラウンドラン」しないことをお勧めします。経験上、パラモーターエンジンを作動させる唯一の安全な場所は、背中にしっかりと縛り付けられている間です。飛行前のすべてのパワーチェックは、パラモーターを正しく装着しているときに実行するのが最適です。これはより安全で、石や破片がプロペラに引き込まれるのを防ぎます。



プロペラは非常に危険な場合があり、プロペラがオペレーターや他の人や物体と接触する可能性がある場所でエンジンを始動し

ないでください。



Operation Notes



EOS QUATTROエンジンを開始する前に、9ページに示すように、常に完全な始動前チェックリストに従う必要があります。

プロペラが何にも誰にも接触できないことを確認してください。Else (パラモーターの場合、マシンは 1.パイロットまたは2にしっかりとストラップで固定されています。独自のテストリグにしっかりと固定されています。

これらの2つのルールのいずれかに従わない限り、パラモーターを開始しないでください。

慣らし運転

EOS QUATTROエンジンは、お客様のリリース前に完全にテストされていますが、最初の重要な稼働時間にエンジンに損傷を与えないように、次の手順に従う必要があります。最初の3時間の運転でオイルを交換し、オイルフィルターを清掃すると、10時間後にエンジンが慣らし運転されます。オイルを交換してオイルフィルターを清掃し、10時間後にバルブクリアランス設定を確認する必要があります。11ページのサービススケジュールに示されているように。その後、サービススケジュールに従ってください。

慣らし運転期間中(最初の10時間)は、離陸にフルパワーを使用できます。空中出力を最大75%に減らす必要があります。この期間中にエンジンRPMを変更することをお勧めします。地上での慣らし運転は強くお勧めしません。

始動

CVKキャブレターの手動チョークを使用して、コールドEOS QUATTROエンジンを始動します。または、スロットル機構を3～5回押して、代わりにアクセルポンプを使用します

チョークを開くときは注意してください、チョーク操作でエンジン速度が高くなり、プロペラが回転します!

始動-コールドスタート:

- 一) まず、プライマーバルブを絞って、キャブレターが燃料でいっぱいであることを確認します
- 二) スロットルが完全に閉じていることを確認し、開閉してテスト操作を行います
- 三) チョークを開くか、スロットルを数回ポンピングします(温度に応じて3～5回)
- 四) スロットルをアイドル状態に保ちます
- 五) 電動スターターまたはプルスターターを使用してエンジンを始動します
- 六) 始動したら、チョークを閉じるよりも少なくとも60秒間速いアイドル速度を維持します。
- 七) 停止ボタンを一瞬押して動作を確認します

周囲温度が低い場合は、チョークを開いてスロットルを3回ポンピングして続行する必要があります。

始動 - ホットスタート:

- 一) スロットルをアイドル状態にするか、少し開いたままにします。約5%
- 二) 電動スターターまたはプルスターターを使用してエンジンを始動します



サービススケジュール

EOS QUATTROエンジンを完璧な運転状態に保つために、次のサービススケジュールを順守してください。選択した周波数で必要なアクションを実行しないと、動作不良または保証に影響を与える可能性のあるより深刻な問題が発生する可能性があります。

周波数	アクション	完了、日付
飛行前および各使用后	オイルレベルを確認する	
	燃料接続を目視で確認	
	固定とラバーマウントを確認してください	
	スロットルが完全に閉位置に戻り、フルスロットルが得られることを確認してください、スロットルを頻繁に押さないでください！エンジンは浮きます	
	プロペラの前縁に損傷がないか確認してください	
	すべての固定ナット/ボルト/エンジンマウントを確認してください	
初期(3時間)後10時間	エンジンオイルの交換とオイルフィルターの清掃	
	チェックバルブクリアランス	
25時間ごと	エンジンオイルの交換とオイルフィルターの清掃	
	ドライブベルトの張りや摩耗を確認してください	
	チェックバルブクリアランス	
50時間ごと	エアフィルターとスパークプラグを交換し、EOSクワトロエンジンフィルターを使用!! 銅グリースによるグリース排気接続	
100時間ごとまたは毎年	エンジンベンチレーションバルブを交換してください	
	エンジンマウント、エキゾーストマウント、オイルクーラーマウントを交換してください	
	ドライブベルトの交換	
	燃料フィルターを交換してください	
500 時間ごと (T.B.O.)	「ゼロアワー」のオーバーホールまたは時間延長については、EOS ENGINEにお問い合わせください	
		看板

保管手順(「レイアップ」)

エンジンを長期間(3 +か月)使用しない場合は、EOS Quattroエンジンを良好な状態に保つために、以下の注意事項に従うことをお勧めします。

- 一) ドライブベルトを緩める
- 二) 燃料タンクの取り外しと排出
- 三) ドレンスクリューを使用してキャブレターフロートボウルをドレンし、プライマーバルブを絞ってシステムからすべての燃料を排出してから、ネジを締め直します。

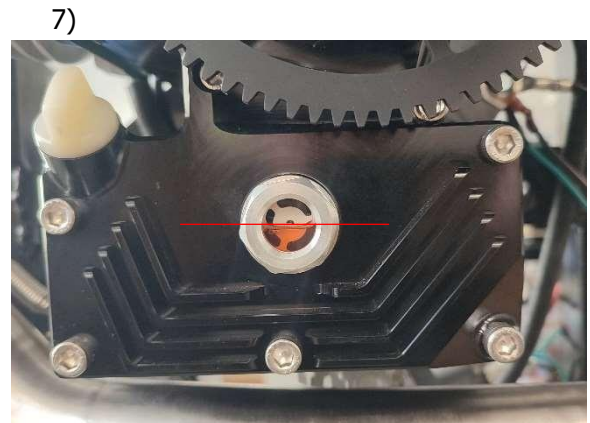
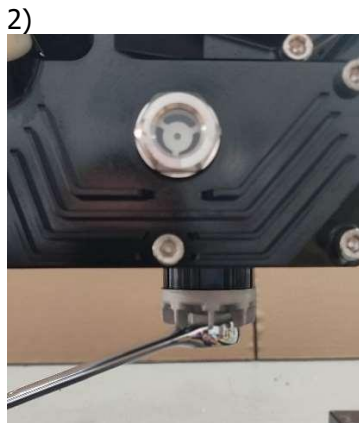
EOSクワトロエンジンを「レイアップ」後にサービスに戻す:

- 一) エンジンオイルを排出して更新し、オイルフィルターを清掃します。
- 二) 補給
- 三) リテンションドライブベルトと摩耗のチェック
- 四) エンジンを始動する前に、飛行前のチェックに徹底的に従ってください。

メンテナンス手順 – オイル&フィルター交換

オイルを排出する前に、EOS Quattroエンジンが通常の動作温度に達している必要があることに注意してください。

- 一) オイルを交換するときは、エンジンを直立させる必要があります。
ります。
- 二) 17mmソケット付きのオイルドレンプラグを取り外し、オイルフィルターを取り外します。
- 三) 使用済みのオイルをすべて適切な容器に排出します。
- 四) ブレーキクリーナースプレーまたは液体を使用してオイルフィルターを清掃します。
- 五) 最初にフィルターとスプリングを取り付けてから、オイルドレンプラグを取り付けます。
- 六) オイルドレンプラグを17mmソケットで締めます(締めすぎないでください)推奨トルクは35Nmです。
- 七) オイルがオイルレベルウィンドウの中央に達するまで、完全に合成された4ストロークモーターサイクルオイル(推奨されるオイルの種類については2ページを参照)を慎重に充填します。
- 八) エンジンを実行し、オイルレベルを再確認し、必要に応じてオイルを充填します。



オイルフィルターとスプリングが正しく取り付けられていることを確認してください。フィルターの取り付けを誤ると、エンジンに深刻な損傷を与える可能性があります。

メンテナンス手順–ドライブベルトテンション

滑りを防ぐために理想的なドライブベルトの張力が必要です。アイドル速度でのスリップ(わずかなチャープノイズ)は、エンジンがダイレクトドライブに適合している場合、ごく正常です。最適なベルトたわみは4~6mmをお勧めします(下の写真を参照)

ベルトは工場ではプレテンションされ、最初の3時間のサービスでチェックする必要があります。

ドライブベルトの調整は、すべてのフライトの前にチェックする必要があります。

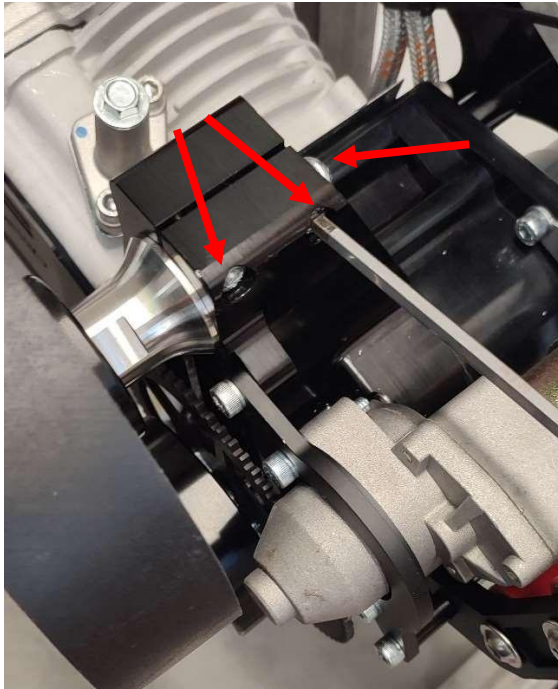




ります。

ドライブベルトは、減速パイロンの上部にある2本のM6ボルトを緩め、偏心ドライブベルトアジャスターを19mmレンチで回して調整でき、時計回りに回転するとベルトが締められ、反時計回りに回転するとベルトが緩みます。調整後、2本のM6ボルトを締め直し、ベルトのたわみをテストします。

ベルトを締めすぎないでください—これにより、ベアリングの故障や利用可能な推力の低下が発生する可能性があります。

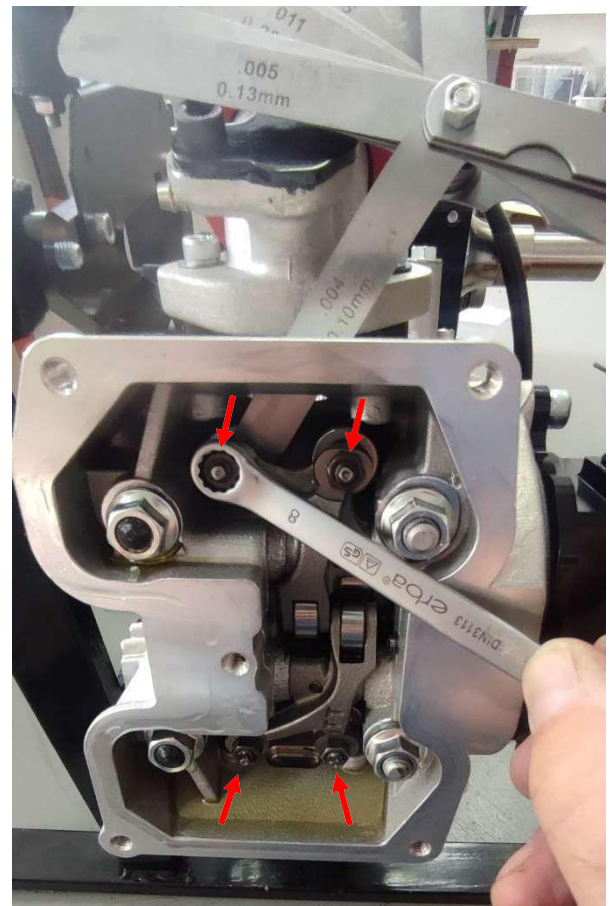


メンテナンス手順-バルブクリアランス調整

カムカバーと調整カバーを取り外します。インレットバルブ(エンジンの上部に最も近い)が完全に閉じ、カムローブがカムフォロワーから180度になるまでエンジンを回転させます。バルブトップとカムフォロワー調整ネジの間に挿入された適切なフィーラーゲージを使用して、9mmロックナットを緩めて確認および/または調整します(バルブクリアランスについては、2ページの仕様を参照してください)

同じ手順が排気バルブ(排気に最も近い)でも使用されますが、排気カムベースサークルに配置されたイージースタートアクチュエータに注意してください。正しい測定値を得るために、カムフォロワーがこれをクリアしていることを確認してください。

調整後、両方のロックナットが締められていることを確認し、カムカバーと調整カバーを再度取り付けます。
シリンダーヘッドから余分なオイルを取り除きます。





保証

EOS QUATTRO ENGINEは、原産地の購入者に対して、すべてのエンジンコンポーネントに12か月の限定部品保証を提供します。すべての保証請求は基地への返品であり、EOSクワトロエンジンオーストリアのみが実行できます。EOS ENGINEは、関税や税金を含む配送/運賃の支払いについて責任を負うことはできません。

サービス履歴を保証し、提供する必要があります。

以下の場合、保証請求は受け付けられません。-水に浸すことによる損傷 不適切な使用による損傷。適切な飛行前チェックを実施しなかったために生じた損害 サービススケジュールを怠ったために生じた損害

パラモーターまたはエンジンへの物理的な落下、落下、または衝撃によって引き起こされた損傷 プロペラが適切に取り付けられていない状態でエンジンを始動することによって引き起こされた損傷、誤ったプロペラタイプでエンジンを始動することによって引き起こされた損傷 ドライブベルトの張力の誤った調整によって引き起こされた損傷 バルブの誤った調整による損傷

クリアランス 誤った燃料またはオイルの種類またはグレードの使用によって引き起こされた損傷 エンジンオイルの不足、または不適切な液体レベルによって引き起こされた損傷

DBキラーの取り外しによるダメージ

!!

EOS QUATTROエンジンからの事前の書面による承認なしにエンジン設計に変更を加えると、メーカーの保証が完全かつ無効になります。

免責事項

危険

このエンジンは、その設計上、突然停止する可能性があります!エンジンを停止すると、強制着陸する可能性があります。このような強制着陸は、重傷を負ったり死亡する可能性があります。

このエンジンを搭載した航空機は、エンジンが突然停止した後、無動力着陸を成功裏に行うことができない場所、対気速度、高度、またはその他の状況で飛行しないでください。このエンジンを搭載した航空機は、日中のVFR状態でのみ飛行する必要があります。

パラモーターとトライク、または小型の超軽量航空機は、航空機として認定または認可されておらず、指定された国または地域の統治機関によって定められた規則および規制に従って機械を使用するのは所有者/パイロットの責任です。EOS ENGINEは、製品で製造または使用された製品の誤用によって引き起こされた損害または死亡に対する請求を受け入れません。

警告

これは認定された航空機エンジンではありません。安全性や耐久性のテストを受けておらず、航空機の基準に準拠していません。これは、エンジンの故障が安全性の問題を損なわない実験的な認定されていない航空機および車両でのみ使用されます。ユーザーは、使用のすべてのリスクを負い、エンジンが突然停止する可能性があることをユーザーが知っていることを使用によって認めます。

このマニュアルは、EOS QUATTROエンジンの操作ガイダンスのみを目的としています。このエンジンの使用は完全に自己責任です。機器、自分自身、またはあらゆる種類の不健康な状態に問題がある場合は、絶対に飛行しないでください。

このマニュアルのいかなる部分も、EOS QUATTRO ENGINEの事前の書面による承認なしに、いかなる形式または手段によっても複製



または配布することはできません。

